

記入例

農業経営改善計画認定申請書

平成〇〇年△△月□□日

甲斐市長 保坂 武 様

申請者

住所 甲斐市〇〇 △△番地

氏名 甲斐 太郎

(名称・代表者)

□□年△△月〇〇日生 (××歳)

Tel (連絡先) 055-〇〇〇-□□□□

090-〇〇〇〇-□□□□

日中の
連絡先

<法人設立年月日 年 月 日設立>

農業経営基盤強化促進法（昭和 55 年法律第 6 5 号）第 1 2 条第 1 項（農業経営基盤強化促進法施行規則（昭和 5 5 年農林水産省令第 3 4 号）第 1 3 条に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農業経営改善計画					
① 目標とする営農類型	<ul style="list-style-type: none"> ・水稲単一 または 水稲+野菜 など ・専業 または兼業 				
② 経営改善の方向 現状と5年後の方向を簡単に記入 所得は、売上げから経費を差し引いた金額	・今まで妻（または親など）と〇人で水稲主体に経営してきた。近年、水稲の委託要請が増えてきており、利用権設定（賃借）と農作業受託を中心に拡大を図りたい。 ・今春、長男が〇〇学校を卒業し経営に参画するため、経営面積の拡大を図る。				
	(年間農業所得及び年間労働時間の現状及び目標) 5年後				
		現 状	目 標 (平成□□年)		
	年間農業所得	現在の農業所得 年間手取り額 万円	目標基準以上の 金額を設定 万円		
年間労働時間	現在の年間 労働時間 時間	目標基準以内の 時間を設定 時間			
③ 農業経営の規模拡大に関する目標	作目・部門名	現 状		目 標 (平成□□年)	
		作付面積 飼養頭数	生産量	作付面積 飼養頭数	生産量
	水稲	350a	17,850 kg (10a 当り 8.5 俵)	400a	17,850 kg (10a 当り 8.5 俵)
	(ほか畑作物)				
経営総合面積		350a		400a	

生産調整物についても記入する

次ページの経営耕地の面積と一致する

前ページの経営面積と合計が一致する

③ 農業経営規模の拡大に関する目標	経営耕地	区分	地目	所在地（市町村名）	現 状	目 標（平成□□年）	
		所有地	田	〇〇市	300a	300a	
		借入地	田	〇〇市	50a	100a	
	作付受託	作 目		作 業		現 状	目 標（平成□□年）
		水稲	耕起・代かき			50a	
			田植			50a	
			収穫			50a	
	単 純 計						150a
	換 算 後						50a
	連 附 帯 事 業	そ の 他 の 関	事業名		内容	現 状	目 標（平成□□年）
④ 生産方式の合理化の目標	機 械 ・ 施 設	機械・施設名			型式、性能、規模等及びその台数		
					現 状	目 標（平成□□年）	
	トラクター			30ps 1台	1台		
	田植機			6条 1台	側条（6条） 共有1台		
	コンバイン（共有）			3条 1台	4条（ゲレンダ）1台		
	軽トラック			1台	1台		
	管理機			1台	1台		
	農作業所			1台	1台		
	90㎡ 1棟				1棟		
				経営目標に見合った整備			
利 用 条 件	農 用 地 の	現 状			目 標（平成□□年）		
		水稲は10～30a区画中心			30a以上の区画のほ場を中心に2団地程度に集積する。		
合 理 化 の 方 向	作 目 ・ 部 門 別	作目・部門名	現 状		目 標（年）		
		水稲	コシヒカリ中心		コシヒカリ以外の作付を増やし、作業の集中を避ける。ほか直播方式の検討など。		
		野菜	品質が一定しない		優良種の活用。病気対策。		

		現 状	目 標 (5年)
⑤経営管理の合理化の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・単式簿記 ・青色申告の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳 ・パソコンを使った経営分析を行う。
⑥農業従事の態様等の改善の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・給与、休日等特に決まりはない。 ・繁忙期に過労働となり休めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給与制、休日制の導入 ・近隣農家との共同作業により労力の融通を図る。
⑦目標を達成するためにとるべき措置	経営改善の目標	措 置	
	規模拡大（農地集積）	<ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理事業を活用して農用地の利用集積を行う。 ・利用権の設定を積極的に進め、規模拡大を図る。 ・スーパーL資金を活用し、農地の取得、機械等の施設整備の拡充を行う。 	
	生産方式の合理化	<ul style="list-style-type: none"> ・コンヒカリ以外にも作付を増やし、作業を分散させる。 ・水稻は側条施肥に移行し、緩効性肥料により追肥を1回減らすなど、作業の省力化を図る。 ・水稻は有機質肥料等の施用による地力増進、土壌改良について研究（試行）し、良質米の生産に努める。 ・耕うん、代かきを半不耕起方式に移行し、緩効性肥料により追肥を減らす等、作業の省力化を図る。 	
	経営の合理化	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン導入による経営分析の実施を行う。 ・農業簿記に取り組み、経営分析について修得する。 ・農業簿記記帳講習会に参加し、複式簿記と経営分析について修得する。 	
	地域農業について	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む中、作付受託から地域の信頼を得て農地集積に結び付ける。 ・地域の中心となり、地域農業を維持したい。 	
その他 （米の生産調整等）	<ul style="list-style-type: none"> ・家族経営協定締結により、休日、給与等を明確にする。 ・減減栽培に取り組み、エコファーマーの認定を受ける。 ・米の生産調整による転作は近隣農家等と相談し、作付けの集団化に努める（研究する）。 ・米の生産調整は、調整水田、自己保全管理で対応している。 		
主となる経営改善の目標と措置内容を記入		生産調整の取組を記入	
		生産調整で作物を作付している場合は、その旨を記入し、1ページの「③農業経営規模の拡大に関する目標」欄に品目、面積等を記入する。	

(参考) 農業労働力	氏名 (家族農業従事者 及び農業生産法人 の構成員)	年齢	経営 主と 続 柄等	年間農業従事日数(日)			
				現 状		見直し	
	甲斐 太郎	50	本人	全般 60		全般 60	
	甲斐 花子	50	妻	全般 60		全般 60	
	甲斐 一郎	19	子	田植・収穫 15		田植・収穫 30	
				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 8時間=1日で換算 専業は概ね150日 兼業は概ね60日以上 </div>			
	常時雇(年間)	実人数		現 状	人	見通し	人
	臨時雇(年間)	実人数		現 状	人	見通し	人
延べ人数		現 状	人	見通し	人		
(参考) 他市町村の 認定状況	認定市町村名		認定年月日		備 考		